

ECN320 地域経済論

3年 1,2クォーター

| | |
|-------------|---------|
| 担当教員 | 木村 亮 |
| 授業形態 | 講義 |
| アクティブ・ラーニング | 要素を含む |
| 単位数 | 2 |
| 曜日・時限 | 水曜日・1時限 |

授業概要

現代のわが国の地域経済の諸課題を理解するためには、とりわけ 1970 年代の「地方の時代」に形成された地方における相対的な豊かさを支えた諸要因が、1990 年代以降の「グローバル化、少子高齢化」の下で大きく変容したことを踏まえる必要がある。

そのために、この講義では、そうした変容の背景について福井県の状況を参照しながら、地域経済を理解するための基礎知識を含めて習得する。まず、1970 年代から現在までの地域経済の変容の概略を、日本経済および世界経済の変化と関連させて学ぶ。次に、地域経済を理解するための各種地域統計データの所在とその利用方法を学ぶ。その後、地域的産業集積、地域開発、中心市街地活性化といった地域経済に関する具体的なテーマに関して歴史的背景と現状の課題について理解を深める。最終的に、さまざまな知識を前提に、福井県の地域経済が抱える諸問題を整理する能力を身につける。

到達目標

- (1) 日本の高度経済成長期、1970 年代以降の安定成長期、1990 年代以降の低成長期といった各時期の地域経済の特徴および、その変容の背景について、国内的、国際的な要因を踏まえて考察する。
- (2) 地域経済に関する基本的な知識を踏まえて、各種統計データや、文献資料等を利用しながら、福井県の経済が抱える諸課題について調べ、他人に説明する。

先修科目

国際地域概論、経済理論（マクロ）、社会学概論、統計入門、地域データ分析

教科書・参考資料等

(教科書)

岡田知弘ほか『国際化時代の地域経済学（第3版）』有斐閣、2007年

(参考書)

福井県『福井県史 通史編六 近現代二』1995年

ふくい産業支援センター『福井県の経済』各年版

e-Stat

福井県ホームページ

県内企業ホームページ

授業の方法

レジュメ・資料を配布し、スライドを用いて授業を行う。講義形式を基本とするが、授業の中で課した問題について、各自が作成したレポートを踏まえてディスカッションを行う時間を複数回設ける。また、各回の授業では質問票を配布し、次の授業で解説をする。

成績評価

授業の中で課したレポートとそれを前提とするディスカッションの内容、および最終ペーパー（福井県の経済の現状と課題に関するプレゼンテーション・スライドの作成）により評価する。

成績

25%：課題レポート

10%：ディスカッション

65%：最終ペーパー

授業スケジュール

第1回：地域経済の歴史と現状①

1970年代に形成された地方の相対的な豊かさを生み出した政治的・経済的要因について理解する。

第2回：地域経済の歴史と現状②

1990年代以降のグローバル化の中で直面する地域経済の状況と課題について理解する。

第3回：地域経済統計①

国勢調査、経済センサスといった人口統計、事業所統計の紹介と利用の仕方について学習する。

第4回：地域経済統計②

工業統計、商業統計を中心とする経済統計について学習する。

第5回：地域経済統計③

県民経済統計および産業連関表について学習する。

第6回：ディスカッション①

地域経済統計を用いて行った分析レポートを前提にディスカッションを行う。

第7回：地域的産業集積①

福井の織物産業集積の展開について基本的な知識を得る。

第8回：地域的産業集積②

基盤的産業集積の強味について具体例を通して理解する。

第9回：地域的産業集積③

90年代以降の地域的産業集積の縮小の実態と背景、それをめぐる自治体の政策について考える。

第10回：地域開発と地方の行財政①

高度成長期の地域経済の発展と地域開発との関係について福井県の状況を中心に学ぶ。

第11回：地域開発と地方の行財政②

1970年代以降の「地方の時代」における地域開発と地方の豊かさとの関係、および90年代以降の変容について考える。

第12回：ディスカッション②

福井の企業の国際化に関するレポートを前提にディスカッションを行う。

第13回：地域づくりと中心市街地活性化①

90年代前半のリゾート開発・まちおこしブームとそれ以降の地域づくりの動きについて理解する。

第14回：地域づくりと中心市街地活性化②

まちづくり三法改正の背景と、福井市における中心市街地活性化の動きについて知識を得る。

第15回：地域づくりと中心市街地活性化③

中心市街地活性化の希少な成功例である高松市丸亀町商店街の事例を説明し、まちづくりや市街地活性化に必要な要素について考える。

事前・事後学習

- ・予習：授業前に学生ポータルに掲載する講義レジュメ、およびテキストの該当部分を予習する事（1時間程度）。
- ・復習：授業内容を復習し、授業後に学生ポータルに掲載する小テストに答えること（1時間程度）